

事務事業マネージメントシート

作成日 令和4 年 04 月 06 日

事務事業名	ワークショップフェスタ・子ども美術館開催事業				担当	教育委員会 文化課 文化振興係			
政策名	1 「人づくり」～豊かなこころアップ！～				<input type="checkbox"/> 総重（総合計画重点事業）	<input type="checkbox"/> 総新（総合計画新規事業）			
施策名	7 文化芸術の振興と文化財の保護・継承				<input type="checkbox"/> 戰拡（総合戦略拡充事業）	<input type="checkbox"/> 戰新（総合戦略新規事業）			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠						<input type="checkbox"/> 毎年度実施（開始年度 令和3 年度～）			
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4	8		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
予算科目									
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・美術評論家久保貞次郎氏の提唱した「創造美育」の子ども中心主義の理念を継承する芳賀教育美術展との関連企画であり、本市の特色ある美術教育の取り組みを発信するとともに、子どもたちが美術に親しみ、文化芸術への関心を高めることを目的としています。 ・幼児から中学生を対象に、自由に創作活動を行うワークショップフェスタ・子どもが独自の視点で作品を鑑賞した上でキャッシュ制作など美術館の仕事を体験する子ども学芸員・ワークショップフェスタで製作した作品やキャッシュを美術館へ展示するもおか子ども美術館を一連の事業として実施しています。 								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）	④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)
3年度実績	<p>ア : ワークショップフェスタ開催日数</p> <p>イ : 子ども学芸員活動回数</p> <p>ウ : もおか子ども美術館会期日数</p> <p>エ :</p> <p>オ :</p>						
<p>3月14日（日）「ワークショップフェスタつくろう！描こう！みんなの久保アトリエ」様々な素材を用いて絵画、立体物等を自由に制作で作った作品を「もおか子ども美術館」へ応募。 ・11月20日（土）「子ども学芸員」応募された作品を「もおか子ども美術館」、及びキャッシュ制作 ・12月9日（木）～2月8日（日）「もおか子ども美術館」来場者の人気投票を行いながら久保記念光文化交流館美術品展示館へ展示（会期中来場者による人気投票を実施） ・2月9日（木）～2月10日（金）人気投票結果発表として市役所1階ロビーへ上位5作品、及び事業の実施内容のパネル等を展示 新型コロナウイルス感染症予防のため、ワークショップフェスタを当初9月開催予定から1月へ延期し、その後の事業も全て延期となっただ。また、子ども学芸員の活動内容を縮小した。</p>							
4年度計画	<p>ア : ワークショップフェスタは令和3年度と同様に実施。子ども学芸員の活動内容を拡充し、美術館への展示作業やギャラリートークを行う。 ・芳賀教育美術展と連携し久保貞次郎氏の功績についても相互に周知活動を行う。</p>						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然资源等	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)
・幼児から中学生	<p>ア : 3歳～中学生</p> <p>イ :</p> <p>ウ :</p> <p>エ :</p> <p>オ :</p>						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
・美術や創作活動に親しみ文化芸術への関心を高める。	名称	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)
<p>ア : ワークショップフェスタ参加申込者数</p> <p>イ : 子ども学芸員への申込者数</p> <p>ウ : もおか子ども美術館会期中1日当たりの入館者数</p> <p>エ :</p> <p>オ :</p>							
(2) 総事業費の推移	単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)	
投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	267	415
	事業費計（A）	千円	0	0	0	267	415

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 本事業は幼児から中学生までの子供たちによる美術創作や学芸員体験を主たる内容とする事業であり、施策体系の文化芸術活動の推進の一環として位置づけられる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 幼児から中学生までの子供たちによる美術創作や学芸員体験を主たる内容とすることに加え、創作した作品を展示し、一般市民に鑑賞の機会を提供する本事業は、施策のうち「市民誰もが文化芸術に親しむ機会の拡充」に資するものがあるので、市の事業として妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 本事業は久保貞次郎氏の提唱した「創造美育」の理念を引き継ぐものであるので、対象が子供であるのは妥当である。また、子供たちの文化芸術への関心を高めることにより、文化芸術の担い手育成が期待できるので、意図も適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 申込者数を増やす等、向上余地はある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 必要最小限の経費で実施しており、事業費の削減余地はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性 (改革案・実行計画)

廃止 見直し (：目的妥当性 ：有効性 ：効率性) 統合 継続
新規事業であり、事業効果を検証するには事業の継続が必要である。次年度は本年度の実施内容を見直し、内容・方法を改善していく。

(3) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

(2) 課題、課題の克服の方向性

4. 事務事業の2次評価結果 (事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合

記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客觀性を欠く 評価内容は客觀的と言える

(2) 2次評価者としての評価結果

①目的妥当性 適切 見直し余地あり ②有効性 適切 見直し余地あり
③効率性 適切 見直し余地あり

(5) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充
事業統廃合 事業のやり方改善
予算削減 予算増大
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(4) その他2次評価会議で指摘された事項
令和3年度から始まった事業であるので、令和4年度の実施状況を見ながら、さらなる向上余地の検討をすること。